



# やまとの安全

令和3年3月4日  
奈良県警察本部課  
生活安全企画課  
(犯罪抑止対策室)

## 「止めてくれてありがとう」

2月10日に川西町にお住まいの60代女性が、役場職員を名乗る電話でだまされ、携帯電話をかけながら銀行のATMを操作していましたが、その様子を見た来店客の女性がすぐに銀行員へ連絡し、被害を直前で止めてくださいました。被害に遭いかけたこの女性から、当時の状況や今の想いをうかがいましたのでご紹介します。



私は、夫と二人暮らしですが、あの日電話がかかってきたのは午前中で、夫は仕事に行っていて不在でした。迷惑電話防止のため、普段から家の電話は留守番電話にしているのですが、私が携帯電話に出ない時に子供や孫から電話がかかってくるので、留守番電話にしているにもかかわらず、電話が鳴れば出ていました。

家の電話が鳴り、私が電話に出ると、相手は「川西町役場のヨシダです」と名乗りました。その人は、「〇〇さんですね。生年月日は昭和〇年〇月〇日でお間違いないですか」などと、**私の名前だけでなく生年月日まで知っていたので、本当に役場の人だと信じてしまいました。**続けて「介護保険料の払い戻しが5年分で約3万円あります。通知を送ったのですが手続きがまだです」と言われました。私は役場の書類などは必ずとってあるのですが、探しても見つかりませんでした。そこで、直接役場へ行くと申し出たのですが、「コロナの時期なので感染のおそれがある。口座へ振り込みます。ATMまでどれくらいかかりますか」と言われました。役場がそんなに混んでいるとは思っていませんでしたし、役場の人ならうちから銀行までの距離くらいわかりそうなものだ、と少し変な感じがしましたが、ちょうどお給料日前だったこともあり、少しでも還付があるなら助かると思い、ATMへ向かいました。

ATMに着くと、携帯電話で銀行のコールセンターだと聞かされていた番号へ電話をかけました。すると男性が出て「手続きを始めるので『振り込み』を押してください」と言われました。私は、**私がもらう方なのに何で『振り込み』なのかと、その時もおかしいと感じましたが、相手のことをすっかり信じていましたし、半分洗脳されたような状態だったのだ**と思いますが、そのまま言われるままにボタンを押していききました。すると、突然銀行の人が来て「待ってください！詐欺かもしれません」と言われたのです。びっくりして手を止めると、ATMの画面は振込金額の入力画面になっていました。私は電話の男性に「**個人番号を言うので入力してください。9、9、2、2...**」と言われて9922...と数字を入力をしていたつもりが、**99万2,200円くらいのお金を犯人の口座へ振り込まれるところだった**のです。この瞬間、私は心臓がドキドキしてしばらく呆然としていました。銀行の人から、私の様子に気づいた女性が通報してくださったと聞いたのですが、その女性はお名前も告げずに立ち去られたようで、お礼を言うこともできませんでした。

特殊詐欺のニュースを見聞きする度に、**『こんなによくひっかかるなあ。』**と他人事に考えていて、**自分はひっかからないと思っていた**ので、今回のことは余計にショックです。うちには財産などありませんが、年金生活のなけなしのお金を取られていたらと思うとぞっとします。あれから、家の電話線は抜きましたし、携帯電話の番号も変えました。普段からご近所付き合いもあり、相談しようと思えばできたかもしれませんが、10分足らずの出来事で相談する時間はありませんでした。**今後は、いつ、どうやってだまされるかわからないと思って、自分でもっと気をつけたい**と思いますし、もし、ATMで携帯電話を使っている人を見かけたら、私も声をかけたいと思っています。

私を止めてくださった女性の方にこの場を借りてお礼を言いたいです。本当にありがとうございました。

## 電話口 お金の話 それは詐欺

～電話でお金の話ができれば詐欺を疑って、ご家族や警察に相談してください～